

小須戸分署救急出動状況しらべ

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病人	転院搬送	計
出動件数	1			53	5	1	19	1	3	81	7	171
不搬送件数				4					1	4		9
搬送人員	1			58	5	1	19	1	2	77	7	171
前年出動				35	8	4	11	3	3	78	6	148
前年比	+1			+18	-3	-3	+8	-2	±0	+3	+1	+23
割合	0.6			31.0	2.9	0.6	11.1	0.6	1.7	47.4	4.1	
男	1			37	3	1	12	1	1	48	6	110
女				21	2		7			29	1	61

◀ 昨年より23回多く出動しています。中でも交通事故による出動が18回を占めています。

59年度の救急車出動状況

救急(火災)は落ちついて119番

火災や事故のとき、正確に素早い応急措置をしてくれる救急車。その救急車の中のしくみは、どうなっているのでしょうか。救急車には、次のような資器材が装備されています。

- 加温器付酸素吸入器
- 呼吸困難等を緩和させます。
- マスクパック
- 自分の力で呼吸できない傷病者に対し人工呼吸等を行います。
- マシニングキンス
- 骨折等の部位を固定し苦痛をやわらげ搬送を容易にします。

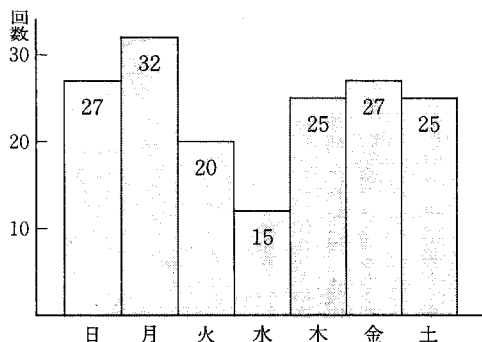
三角布、滅菌ガーゼ
止血、被覆等の応急処置を行います。

風折式担架
屋内、階段、狭い場所等で使用します。

以上のような資器材を装備し、救急出動要請があれば、救急車間教育を受けた隊員三人で出動し、傷病者の状態に合わせて応急処置を行い、病院等へ搬送いたしますので、救急車を要請する時は傷病者の状態をくわしく通報してください。

曜日別出動状況しらべ

◀ 休み前の気のゆるみ、休み後の休みボケでもないのですが、日曜日の前後が多いようです。



昭和60年2月1日 農業センサスが実施されます。

農家の皆さんへ
農林水産省では、本年2月1日現在ですべての農家を対象として、農業センサスを実施することとしています。昭和25年以来5年ごとに実施しているこの調査は、我が国の農家戸数、耕地面積、農業経営の概況など農業の現状を明らかにし、各種農業振興施策を推進するための資料を提供してきました。

農業は、国民に食料を確保するとともに、国土や自然環境の保全にも大切な役割を果たしています。今後、これらの施策を充実、発展させるためにも農業センサスの趣旨をご理解いただきご協力をお願いします。

※採用試験
①期日 昭和六十年二月二十日(水)午前9時
②場所 小須戸町役場行政課
③方法 面接試験
④資格 面接試験
⑤試験科目 面接試験
⑥試験時間 1時間
⑦試験料 500円
⑧試験会場 小須戸町役場行政課
⑨試験科目 面接試験
⑩試験時間 1時間
⑪試験料 500円
⑫試験会場 小須戸町役場行政課

町職員(女子用務員)を募集します。

町職員を次の要領で公募します。
①期日 昭和六十年二月二十日(水)午前9時
②場所 小須戸町役場二階 保健指導室 (三二一内四六)
③方法 面接試験
④資格 面接試験
⑤試験科目 面接試験
⑥試験時間 1時間
⑦試験料 500円
⑧試験会場 小須戸町役場行政課

町職員を次の要領で公募します。
①期日 昭和六十年二月二十日(水)午前9時
②場所 小須戸町役場二階 保健指導室 (三二一内四六)
③方法 面接試験
④資格 面接試験
⑤試験科目 面接試験
⑥試験時間 1時間
⑦試験料 500円
⑧試験会場 小須戸町役場行政課

町職員を次の要領で公募します。
①期日 昭和六十年二月二十日(水)午前9時
②場所 小須戸町役場二階 保健指導室 (三二一内四六)
③方法 面接試験
④資格 面接試験
⑤試験科目 面接試験
⑥試験時間 1時間
⑦試験料 500円
⑧試験会場 小須戸町役場行政課

町職員を次の要領で公募します。
①期日 昭和六十年二月二十日(水)午前9時
②場所 小須戸町役場二階 保健指導室 (三二一内四六)
③方法 面接試験
④資格 面接試験
⑤試験科目 面接試験
⑥試験時間 1時間
⑦試験料 500円
⑧試験会場 小須戸町役場行政課

町職員を次の要領で公募します。
①期日 昭和六十年二月二十日(水)午前9時
②場所 小須戸町役場二階 保健指導室 (三二一内四六)
③方法 面接試験
④資格 面接試験
⑤試験科目 面接試験
⑥試験時間 1時間
⑦試験料 500円
⑧試験会場 小須戸町役場行政課



○降り始めからの累計降雪
12月17日～1月15日 417cm
○1日当りの最高降雪量
12月30日・1月6日 48cm
○最高積雪量
1月7日 158cm
○1月15日現在積雪量 145cm (消防署資料)

雪おろしなさんて
もうたくさんさ

年末から年始にかけ降り続いた大雪。うらめしく空を見上げてはためきが出たことでしょうか。この雪で多くの皆さんが身心ともに疲れていることと思います。でも冬も中盤です。もう一度気をひきしめて、町ぐるみで雪を克服しましょう。

除雪作業にご協力を

町では、町民の皆様の交通確保のため、機械力を総動員して除雪作業に全力をあげています。毎朝三時に降雪量が基準を超えますと除雪車が出勤しますが、困ることは除雪路線に路上駐車がありますと除雪作業がストップしてしまいます。違法駐車がありますと、その都度警察に通報して協力を呼びかけていますが町ではドライバーの皆さんのご協力を呼びかけています。

道路の除排雪

屋根の雪をおろしますと、捨て場に困り道路上に放置する人がいます。止血、被覆等の応急処置を行います。風折式担架、屋内、階段、狭い場所等で使用します。以上のような資器材を装備し、救急出動要請があれば、救急車間教育を受けた隊員三人で出動し、傷病者の状態に合わせて応急処置を行い、病院等へ搬送いたしますので、救急車を要請する時は傷病者の状態をくわしく通報してください。

除雪事故と火の用心

がいますが、交通の障害にならないよう町が指定した雪捨て場(総合グラウンド)へ捨てるようにしてください。その場しのぎに消雪パイプの道路上や水路に捨てていますが、交通の妨げになったり浸水騒ぎなどを引き起こす原因にもなっています。

ガス・水道管に注意を

雪の重みでガス管やガスメーターがこわれ、ガス漏れがおきると大変危険です。雪おろしや除雪でガス管、ガスメーターが埋まっていますか? 風呂釜、湯沸器の給排気筒が埋まったり折れたりしていると不完全燃焼やガス中毒の原因にもなります。もう一度点検してください。また、河川などに架管してあるガス管の近くには雪を捨てないでください。雪で埋まっている場合は赤いハタで見えるようにしておいてください。これからは寒さが厳しくなり、水道管や給湯器の凍結、破損が多くなりますので凍結注意報が出た日には、器具の水を抜くか水を流したままにするようにしてください。また、水道管の元栓をいつでも止められるよう除雪しておきましょう。

